3 − 1
重戸社会

# 人文学報 21号 合評会

'66. 5. 23

出席者。 梅棹、上山、中尾、松原、富川、米山、
佐々木、加藤、桑原、石毛、藤岡

## A. 中尾論文評

### 1. アレライゼーションの概念規定

Nk. 対立遺伝子を allele という。allelization は、これより、造語した。allele をつくるのが、allelization である。allele をつくるには、ポテンシャルが必要である。文化現象において、一方の存在によって、他の対立する現象がおこることを allelization という。

Uy. allelization のおこる文化複合と、おこらない文化複合とが存在すると考えてよいか？

Nk. impact したときに、acculturation がおこるか、allelizaton がおこるかどちらかに区別される。

### 2. アカルチュレーションとアレライゼーション

Kt. acculturation と allelization は対立概念か、連続概念か？

Nk., Us. 対立概念ではない。ダイナミックスである。要素の段階では、allelization か acculturation のどちらかである。

Nk. 要素がまじわるまでに熟していたら、allelization がおこる。要素が成熟していなかったら、acculturation になる。

Ig. acculturation は、任意の二つの文化が接したら起るが、Nk. の言う allelization はある系の間では、おこらぬように書かれている。allelization の起る条件は？

Us., Ss. acculturation ─ 文化複合 } 間のはたらきとして考え
allelization ─ 文化の要素 }
た方がよい。セット間の allelization は検討すべきである。

### 3. 高文化と低文化

Nk. P. 61 で、acculturation を高級より低級への流れと考えたのは、遺伝においては、高きより低きへは、すべてが、

流入するに反して、低きより高きへは、ほんのすこししか、流入しないことを考えに入れたから。遺伝においては、高低の関係は、支配によってはじめてたしかめられる。

Tm. 文化において、高級、低級は、判断するものの立場によって決定される。Nk. は、何を基準にして決定するか？

Nk. 多く流れこむものを含む方を優性という。

Us. 優劣論を持ち込んだら困るのでないか。文化の場合、優性劣性の背後にあるものの方が大きな意味をもっている。

Nk. 遺伝学の中では、優性、劣性といいがたい例もあるが、文化の場合には、必ずそれがあるはず。

cultural contact したとき、必ずしも、文化が流れ込むとは、かぎらない。そのとき優、劣が強く仂く。

一、二の要素しか counter part としてでていない。

allelization を起すのは劣の方。

Kt., Ss. 影響が相互にはたらきあうということはないか？　一方だけが無傷ということはあり得るか？

Nk. 実例としてはないだろう。

## 4. 伝播とアレライゼーション。

Ig. ないものを導入することと、allelization を区別する必要がある

Nk. セットとして、その中に欠けているものは、counter part として、無から有を生ずる場合もある。

Yn. diffusion でとけぬ問題で、allelization でとける問題が多くあるだろう。

## 5. その他

Us. 日本文化は、触発されて allelization をたくさん起していると言える。習合とよんでいるものは、それに近い。西洋化、アメリカ化というものは、実は近代化なのである。

Kt. 系譜あらいをしていったら、きりはない。

Us., Kt. 西洋化と呼ぶ根低には、差別観がある。差別の上に本来観を持っていることが、問題である。

Us. culture dinamics の用語として、使用できるかどうか吟味する必要がある。

Kt., Nk. 文化接触の概念としては、acculturation と allelization のほかにもっと term があるはず。

Nk. 1ダースほど用意してある。

## B. 佐々木論文評

### 1. 問題点

Ss. 東南アジア村落のどのタイプがベーシックか？　ということが、まず問題であった。焼畑は、人口支持力が少いにもかかわらず、なぜナガのような大集落ができたのか、理由を考えようというのが目的。

Nk. 村落の形態には意味があるのか？

Ss. 100人の村と1500人の村では、意味が異なってくる。規模を問題とする。

Ig. ニューギニアでは、社会構造の違いが、開拓のやり方に関係してくる。　集村――共同労仂。　散村――家族労仂というカテゴリー及び、焼畑の常畑化と定着村落――人口圧がふえたとき、人口単位による開拓――散村、　共同労仂による開拓――分村というふうな考えをすることはどうか？

### 2. ロングハウス

Ss. イバンがなぜ、ロングハウスの集村を形成したのかわからない。

Mb. イバンが新村をつくったときの事例をきいた。戦争でちりぢりになったあと、同じ川すじに住んでいた者同志が、集まって村づくりをした。

Yn. Freemanの論文を、日本的なイエという見方で考えたら、ロングハウス全体を、家とみることができるのでないか。

Ss. ロングハウスの2,3軒を一つの家と見なすことができる。

### 3. 日本の焼畑

Ig. 日本の焼畑は、東南アジアのどのタイプにあたるか？

Ss. 九州の例は、Weiler型である。

### 4. 平野の文化――ヒンズー

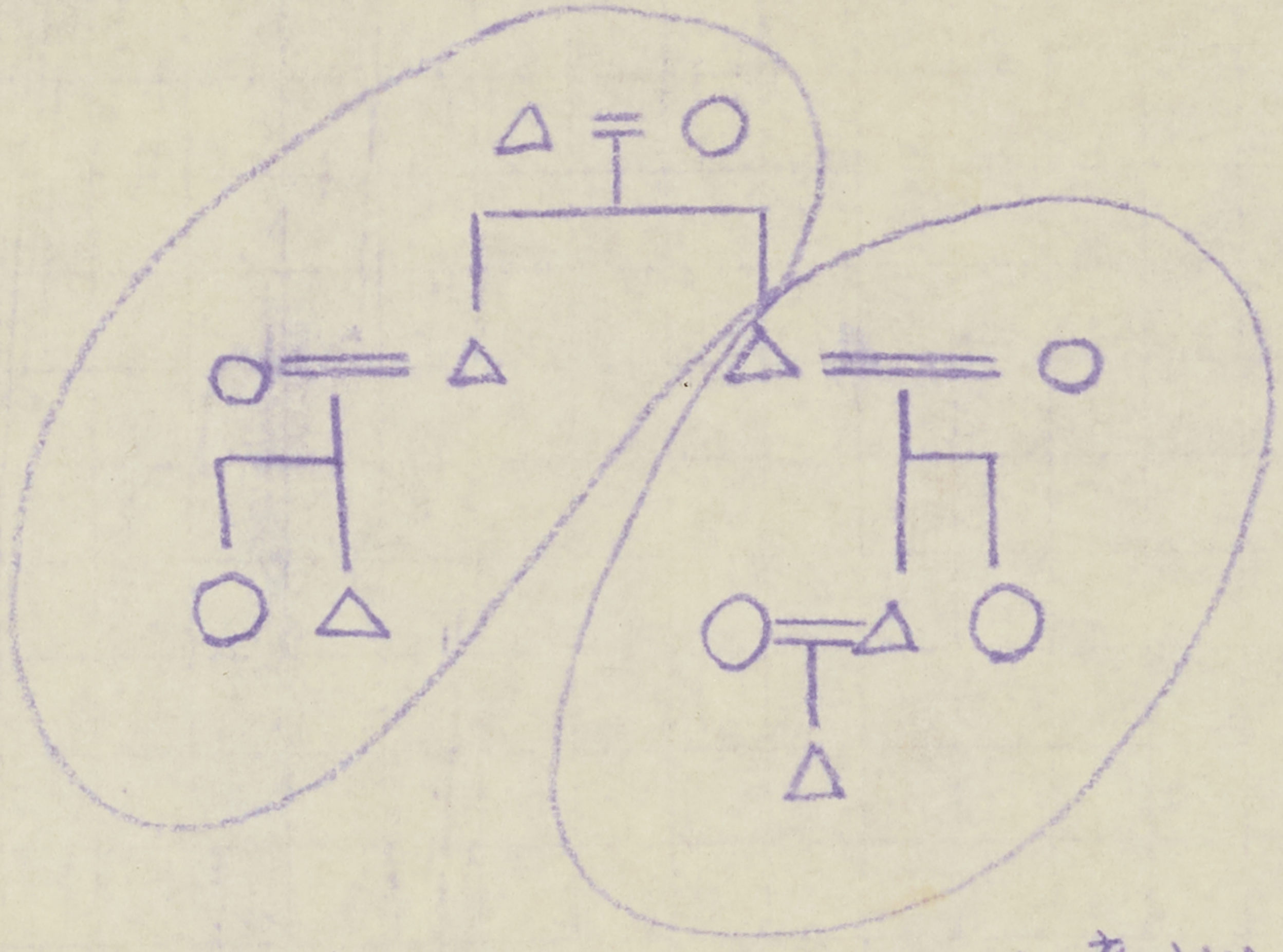
Nk., Ss. ヒンズー文化は、平野のものである。300 mの丘でもよう上らん。

Ss. カースト制は、余剰人口にすこしずつ、仕事を与へ、食いはぐれをさせない。生活程度を下げさえすれば、山へフロンティアを求める必要がない。そこで人口圧があるにもかかわらず、丘へものぼらない。というよりも、のぼる気力がおこらない。

C. 米山論文評

Ss. extended family は、家族になるか？ 核家族イコール家族といったらいけないか？
核家族の外延のどこまでが米山の言う家族か？

Tm.



これは二つの家族か？
一つの家族か？

Yn. これは一家族であるという意識があるかぎり、一家族であるし、成員がそうではないと思ったら二家族である。

Us. Yn. は、etic と emic で、家族と家を考え、両者は、同一次元で考えているが、この二つは、全然別のレベルにあるものとして考えたらどうか。

Yn. 文化的統合体を家に考えている。これは、家族と家を別の、レベルにおいているから。

Us. 文化的統合体と社会構造は、レベルがちがうというところから、次元をことなる視点で世界中を切ることが出来る。
家族 —— 実体 —— 社会学の対象
家 —— 文化 —— 文化人類学の対象

etic

チンパンジー
↓
家族 —— 村落 —— 国家 —— sociology

---

emic

人間
↓
ウチノモノ — イエ — ムラ — クニ —— ethno-sociology